

ほほえん de 北播磨

2017January

平成29年1月

第11号

ごあいさつ



北播磨総合医療センター
病院長 横野 浩一



皆さま、新年あけましておめでとうございます。穏やかでよい新年を迎えられたことと思います。また、いつも北播磨総合医療センターの医療に、ご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。早いもので当院も4度目の新年を迎えることができました。この間、利用者の皆さまのご理解のもと、予想を上回るスピードで病棟のオープンが進み、救急患者の受け入れや分娩数の増加など、救急医療と周産期医療の充実などにより、地域の基幹病院として急性期医療を担うセンターの体制が発展途上から安定期に入りつつあると感じています。

また昨年は、先端医療センターや臓器別・疾病別センター構想の実現、SCU、緩和ケア病棟、血

液浄化センターの充実など、順調にハードおよびソフト面の拡充が進行しました。

人材育成におきましても一例をあげれば、開院当初は4名であった初期研修医の枠が平成29年度からは10名にまで増員され、兵庫県下で大学病院を入れても10指に入るまでランクアップしました。また、看護部や診療支援部におきましても優秀な人材の育成が着実に進んでおり、当院の診療体制はますます充実してまいります。

一方、わが国は世界に類を見ない超少子高齢・人口減少社会に突入し、このため医療構造にも大きな変化を受けることが余儀なくされています。このような状況の中、当院では昨年末に総務省の新公立病院改革ガイドラインを参考にし、「北播磨総合医療センター改革プラン」を初めて作成しました。この内容は2025年問題に対応すべく、2020年(平成32年度)までの中期的な目標を掲げたものです。具体的には、より一層地域医療に貢献し病院運営の効率化を図るため、実質的な病棟フルオープンを目指します。

また、高度先進医療・チーム医療の推進及び地域の医療機関とのさらなる連携の強化や地域包括ケ

アシシステムの構築に係る地域の医療機能の向上などに取り組んでまいります。

どうか以上のような当院の新たな取り組みにご理解とご支援のほどお願い申し上げます。この一年が皆さまにとりまして健やかで充実した年になることを祈念して、年頭のごあいさつとさせていただきます。



病院長あいさつ	1
ドクターのリレー講座	2
DMAT訓練	3
認定看護師リレー紹介	4
チーム・委員会の紹介	5
病院探検ツアー	6
病院フェスタ	8
大きくな～れ、小野ハーフマラソン	9
外来診療日程表	10
新任医師紹介 他	12

気管支鏡検査とは？

呼吸器内科部長 高月 清宣



呼吸器内科は呼吸器系の症状（咳、痰、呼吸苦）に対して診断治療を行います。

代表的疾患には肺癌、呼吸器感染症（肺炎・肺結核・非結核性抗酸菌症）、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、間質性肺疾患、睡眠時無呼吸症候群等があります。呼吸器症状があっても、心不全といった心臓疾患や逆流性食道炎といった消化器疾患、筋力の衰える神経筋肉疾患であったりすることもあります。他科と連携して診断を行う場合もあり、治療に関しても感染症や呼吸不全などの疾患は、一般内科とともに診療しています。

呼吸器疾患は喫煙と関連するものも多く、慢性呼吸器疾患は年齢とともに増加します。

当院で入院患者数の最も多い疾患である肺癌は、喫煙や高齢化と関係のある疾患で、全悪性腫瘍の中でも増加しており、病気の進行度合いに応じて手術、化学療法、放射線治療などが選択されます。進行期肺癌に対しても、多種多様の抗がん剤が使用できるようになり、患者さん個人に対応した治

療を行っております。QOL（生活の質）の改善も目標であり、疼痛に対する治療や呼吸苦に対する酸素吸入という症状を緩和するケアも肺癌診療として必要となっています。

慢性閉塞性肺疾患（COPD）は、喫煙や高齢化と関係があり、最近注目されている疾患です。CT検査、肺機能検査を用いて診断していきます。最近では吸入薬剤や在宅酸素療法も行われており、QOL（生活の質）の改善を目標としています。

気管支喘息は発作入院が減少してきています。吸入ステロイド療法により良好なコントロールが可能となってきました。

気管支鏡検査とは

気管支鏡（電子スコープまたはファイバースコープ 図1）は、肺や気管支の病気にかかった患者さんの気管支内を観察すると共に、組織や細胞を採取して診断を行います。肺がんや間質性肺炎の診断に役に立ちます。しんどい検査ですので、一般的に採血やCT検査の後に行います。



気管支鏡は鉛筆ぐらいの太さの柔らかい棒状のカメラです、胃カメラとほぼ同じ仕組みです。胃カメラは食道を通して胃に、気管支鏡は気管・気管支を通して肺にカメラを挿入します。ご飯粒が入ってもむせる気管の検査ですので、そのままでは苦しく、あらかじめ、のどに霧状のキシロカイン

図1 気管支鏡

という麻酔薬をスプレーして行います。痛み止めや鎮静剤の注射を行う場合もあります。

医師から気管支鏡検査を勧められるのは、

○痰に血液が混じった場合

○原因不明の咳が続く場合

○胸部レントゲン写真やCT写真で肺に異常陰影がみられ、肺癌や感染症、炎症などが疑われる場合

○喀痰検査で癌細胞を疑う所見がみられる場合

○その他、肺、気管支に異常が疑われる場合
などで、次の手順で行われます。

気管支鏡検査の実際

(図2、図3)

①検査前の一食は絶食となります。
②検査直前にのどの麻酔をします。
③酸素濃度モニターや心電図モニターを装着し、薬剤から目を保護するために目を覆い隠します。
④ベッドに仰向けに寝ていただき、マウスピースを口にくわえ、口から気管支鏡をのどに通して気管支まで挿入します。



図2 気管支鏡で気管支内を観察します

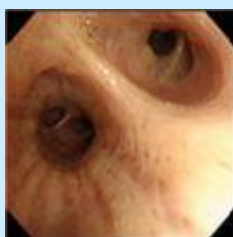


図3 気管支鏡で見た気管支内の様子

⑤検査中普通に息をすることはできますが、気管支鏡が声帯のすきまをとおり抜けるので声は出せません。
⑥出血などの偶発症が起きいていないことを確認してから、ファイバースコープを抜きとって検査を終了します。検査時間は通常20〜30分程度です。
⑦のどの麻酔はすぐには切れません。検査後しばらくは水や食物を摂らないようにします。



▲情報収集に追われる本部長



▲いち早く対策本部を設置！



▲次々と運び込まれる被災者



わずかな時間で、的確にトリアージを行います



山崎断層帯を震源地とする震度6の地震により、北播磨総合医療センターにも多数の被災者が集まってくることを想定した訓練を実施しました。(12月17日)
近畿ブロックのDMAT隊とも連携し、患者対応にあたりました。

DMAT訓練に参加
― 震度6を想定 ―

「DMAT」(Disaster Medical Assistance Team) とは、大災害や大事故などで、すぐに活動できるよう専門的な研修や訓練を受けた「災害派遣医療チーム」のこと

～認定看護師の活動リレー紹介～

がん性疼痛看護認定看護師の巻

緩和ケア病棟

副課長 篠崎 智子



認定看護師とは

日本看護協会が策定した資格認定制度の資格の一つ。特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護が実践できる看護師のことを指す。高度化・専門分化が進む医療現場における看護ケアの広がりや看護の質の向上を目的としている。

「がん性疼痛看護認定看護師」
の役割を紹介します！

男性の2人に1人、女性の3人に1人ががんにかかると言われていています。がんはとても身近な病気になりました。治療の進歩に伴いがんの治療率は上昇していますが、それでもなお怖い病気と思われている理由の一つに、がんの痛みがあるのではないのでしょうか。確かに、がんと診断された時点では30%の方に、終末期の状態では80%以上の方に痛みが出現すると言われています。

痛みがあると、痛みそのものによる苦痛だけでなく、今まで当たり前のように出ていたことが出来なくなるなど、日常生活に支障をきたします。また、痛みがあることで、何もやる気が起きず、気持ちが悪く沈んでしまうこともあります。痛みを和らげることは、自分らしく毎日を過ごしていくうえでとても重要なことと言えるでしょう。

日本では数年前まで、「がんの痛みに対する治療」はそれほど注目されていませんでした。しかし、がんの治療中であっても、同時に

痛みをはじめとする辛い症状を緩和していくことが生存期間の延長に繋がるという報告もあり、現在は痛みの治療の必要性が周知されてきています。

痛みの治療は、患者さんと話し合いながら行っていく必要があります。なぜなら、「痛い」という感覚は、その人にしか分からないからです。痛みの治療に用いる薬に、医療用麻薬があります。「中毒になるのではないか」「命を縮めてしまうのではないか」と心配されている方もいらっしゃると思いますが、医療用麻薬は、その有効性・安全性を国が承認した薬剤です。医師の処方に基づいて適切に使用することで中毒になることはなく、痛みが和らぐことで気力・体力の回復に繋がることがあります。

私はがん性疼痛看護認定看護師として、患者さんの痛みを知り、痛みの治療に用いられる薬剤の作用を理解したうえでその効果を評価したり、どのような看護が必要かをスタッフと話し合ったりしながら、患者さんの痛みが和らぐようにお手伝いをしています。現在は緩和ケア病棟で勤務していますが、一般病棟や外来通院中の患者さんにも対応し、治療の

時期や療養場所を問わず、痛みを抱えて過ごしておられる患者さんに関わっているスタッフと協働しています。痛みが和らぎ、自分らしく毎日を過ごして頂けるように、一人ひとりにあった痛みの治療・ケアを提供することが、がん性疼痛看護認定看護師の役割と考えています。



～チーム・委員会紹介～

「ICLS チーム」の活動を紹介します！

病院には、心肺停止で運ばれてくる患者さんがいます。また生命の危険となる病気を持たれた患者さんが来院されることもあります。それ以外でも、患者さんや付き添いの方も含めて、病院の外来や病室で、突然予期せぬ心肺停止が起きることがあります。心肺停止になった場合には、原因が何であれ、直ちに心肺蘇生法を開始することが重要です。これは心臓を復活させるという以上に、脳を保護するという目的があります。心肺停止状態がしばらく続いても、心臓は正常に復活することがありますが、脳は酸素不足に弱い臓器で、脳への酸素が3～5分停止すると重症な脳障害が起きます。つまり、心肺停止で酸素を含んだ血液が3～5分間脳にいなかった場合、心臓が再び動き出しても脳障害が残ってしまいます。



脳障害を防ぐには、一刻も早く心肺蘇生法を開始すること、特に胸骨圧迫（心臓マッサージ）を始め、その後は、「強く」、「速く」、「絶え間なく」行うことで、脳に酸素を送り続けることが重要です。

心肺蘇生法を行う時に重要なことは、あらゆる医療従事者がチームとして治療にあたることです。このため、当院では前身の三木市民病院時代の2006年から有志が集まってICLSの活動を開始し、職員のICLSコースや救急蘇生法の研修を積極的に取り組んでいます。

ICLSとは

「ICLS」とは「Immediate Cardiac Life Support」の頭文字を取った略語で、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。緊急性の高い病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生（二次救命処置）」を習得することを目標としています。講義室での講義はほとんど行わず、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。



コースも指導者（インストラクター）も認定制度があり、一定の基準をクリアすれば、救急医学会から認定されます。当院で行っているコースは全て、救急医学会の認定コースです。またインストラクターも順調に増えており、現在院内に認定ディレクター（コースの開催権限のある医師）3名、認定インストラクター25名、アシスタントインストラクター（認定インストラクターを目指す方）が数名在籍しています。インストラクターは、院内は勿論近隣のコースでも活躍し、他施設との交流も盛んに行われています。

ICLS teamの取り組み

- ・ **ICLSコース**：前身の三木市民病院時代から、年3回のコースを開催し、現在までに合計35回のコース開催実績があり、院内外で、延べ588人（2016/11/27 現在）の方が受講されています。
- ・ **BLSコース**：救命は一次救命処置（BLS）が基本です。周囲の状況を確認して意識レベルを確認し、マンパワーの確保、気道確保・呼吸確認、人工呼吸（省略可）、胸骨圧迫、必要に応じてAEDを用いる。これらを学ぶBLSコースも毎年開催しており（延べ30回）、新人職員（看護師、医療技術部）と初期研修医は受講を必須としています。
- ・ **その他**：心肺蘇生ガイドラインは5年ごとに変更されています。現在は2015年に発表された「ガイドライン2015」が最新のガイドラインとなります。これらガイドラインの改定に合わせて、院内で勉強会などを行っています。また、毎年、ICLS teamのメンバーが中心となり、病院フェスタで一次救命処置体験のブースを担当しています。



★病院探検ツアー

【血液浄化センターを紹介します】

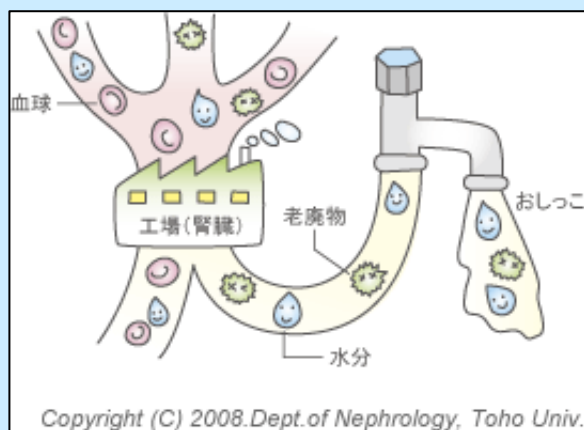
～血液浄化センターがリニューアルしました！～



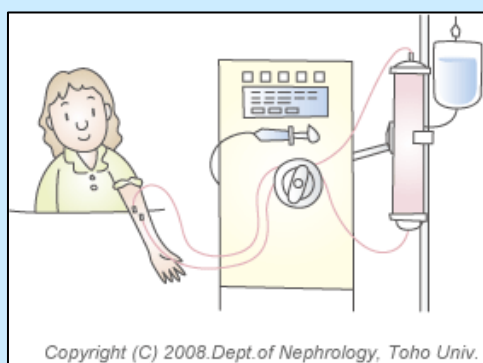
血液浄化センターは 10 月 31 日にリニューアルしました！
ベッド数は 4 床から 8 床に増床し、設備も充実しました。

現在では、8 人に 1 人が腎臓病になっています。
私たちの体中に流れている血液は、酸素や栄養を届けたり、細胞からいらなくなったものを受け取ったりしています。腎臓では、いらなくなったものだけを選別して、尿として体外に排泄しています！

血液透析では、腎臓病で低下した機能を補うために、老廃物の排出、体液バランスの調整などを行います。



**これが血液透析を行う装置です。
腎臓の働きの一部をしてくれます！**



血液浄化センターのスタッフで～す！

透析医療はチーム医療です。透析機器の準備から終了までにはたくさんの専門職が関わっています。チームワークを大切に、頑張っています！





毎朝行っているカンファレンス！

腎臓内科医師、看護師、臨床工学技士等で、情報交換・共有を徹底して行い、安全で質の高い透析医療を目指します！



定期的にいろいろな勉強会を開催しています。



11月30日に開催した勉強会

透析と腹膜透析について実施しました。新しくなった血液浄化センターの新運用についても紹介しました。



ミニ勉強会

血液浄化センターの感染対策について勉強しました。



症例検討会

月に1回多職種で症例検討会を行っています。



透析と共に生活されている患者さんたちが、よりよい人生を送れるように、信頼される血液浄化センターのスタッフとして、常にスキルアップし続けます！！

多くのご参加をいただき、ありがとうございました！

病院フェスタ

と き：平成28年10月23日（日）

ところ：北播磨総合医療センター（1階玄関・外来ホール）

▼みやま保育園の皆さんによる元気いっぱいの鼓笛演奏でした！



▲
ドクターも
負けずに
腕まえを
披露！
▼



宅見副院長による健康講座
予防～転ばぬ先の杖～



いつの間に練習
したのかなあ



よくしたい
糖尿病 抑止隊
参上！



今年も大人気の
キッズコーナー



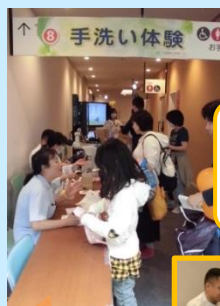
ナースに変身
ハイポーズ！



電気メス
に挑戦！



薬が袋に
入ってで
きました



きれいに
洗えたか
みてくだ
さい



▲近隣の消防署も参加！



▲新しく「防災啓発」コーナーもできました

★★★ 大きくな～れ ★★★

～新人の助産師が、就職して初めての

赤ちゃんをとりあげました !! ～



みずき

水樹ちゃん誕生

女性病棟



出産されたお母さんから温かいお言葉をいただきました

今回は3人目の出産で、はじめて北播磨総合医療センターで出産しました。

入院してから出産まで、ずっと1人の助産師さんが担当してくださり、大変心丈夫でした。3人目だからしっかりと、と思いながらも、陣痛の痛みには耐えきれず、一番強い痛みの時には目をつぶってしまいました。その時に聞こえてきたのが助産師のさんの「さあ、がんばって、息を吐いて、すって」という温かい声でした。私はずがるような思いで、誘導してくださる喜多さんの言葉のとおり呼吸法をすることで、なんとか痛みをこらえ無事に出産を迎えることが出来ました。私にとって、助産師さんの言葉は、暗い夜の海で遭難しそうになっている私に、進路を示してくれる灯台の明かりのようでした。

あとで、喜多さんにとって、私の赤ちゃんが第1号だったとお聞きしてびっくりしました。きっと、喜多さんは私の出産や子どものことを一生覚えていてくださるだろうと思います。私も、喜多さんや入院中に親切にしてくださったスタッフの皆さんことを、一生忘れません。

ありがとうございました。



喜多助産師

入職して初めてのお産でした。

とても緊張しましたが、産婦さん

にとっては、一生に数回しかない、

新しい家族が誕生するというとても大切なイベントです。今の私にできる限りのケアをしようとして一生懸命に呼吸法や産痛の緩和を行いました。お母さんから、このような温かいお言葉をいただき大変感動しました。まだまだ駆け出しの助産師ですが、初心を忘れず、いただいた言葉を胸に日々精進していきたいと思っています。



小野ハーフマラソン メディカルランナーとして参加！

12月4日



今回で第3回となる小野ハーフマラソンに、今年も北播磨総合医療センターから、医師をはじめ医療スタッフ計22名がメディカルランナーとして参加しました。10分おきに設定タイムを設けて走っていたところ、偶然にもメディカルランナーの目の前で一般参加のランナーが倒れたため、すぐに救急要請と心肺蘇生を行い、救急搬送し、一命を取り留めることができました。



今回は、心肺停止事例に遭遇し、まさしくメディカルランナーとしての役割を果たすことになりました。心肺停止となったランナーは、現在、社会復帰を目指してリハビリに励まれ、目立った後遺症もなく順調に回復されています。

参加したメンバーは、これからも市民ランナーが安心して走れるよう、積極的に参加したいと意気込んでいます。



感謝状授与



1月10日に小野ハーフマラソン実行委員会から、いち早く救急救命措置を行ったメディカルランナーの飯盛先生に感謝状の贈呈がありました。

外来診療日程表

※初診の際に必ず予約が必要な診療科

外来受付時間は、初診：午前8時30分～11時30分、
再診：午前8時～11時30分。診察開始時間は午前9時からです。
午後は予約のみの診察となります。

【平成29年1月4日現在】

診療科		月	火	水	木	金	備考
総合内科、老年内科	午前	高橋	西山	原	横野	門脇	
		高吉 (第1・3・5週)	中川	荒井	安友	大橋	
		荒井 (第2・4週)		川瀬 (第1・3・5週)	大幡 (第1・3・5週)		
				木村 (第2・4週)	高吉 (第2・4週)		
循環器内科	午前	山脇	平石	山脇 (再診のみ)	山田	吉田	初診・再診(予約)
		田頭	中川	中川	田頭	平石	
		栗野 (10時～)		山田	中林 (予約のみ)		
		不整脈センター 外来 (吉田)	大橋	高見	栗野	石井	再診(予約)
				ペースメーカー外来 (第2・4週)			
	午後			ペースメーカー外来 (第2・4週)	心リハ外来		
				動脈硬化疾患 外来 (第2・4週)			
				スペシャルデバイス 外来(第3週)			
消化器内科	午前	大瀬	田中	佐貫	堀	吉江	初診
		堀	佐貫	田中	吉江	大瀬	再診(予約のみ)
		阿部晶		平野 (肝臓外来)	佐々木	木下	予約のみ
呼吸器内科 木曜日の診察は 予約のみ	午前	新家	松本	金城		堂國	初診・再診
			高月		松本	高月	予約のみ
					新家	金城	
	午後		高月				予約のみ
腎臓内科 完全予約制	午前	石田	北村	岡本	腹膜透析外来	石田 (第1・5週) 西 (第2週) 北村 (第3週) 藤井 (第4週)	予約のみ
	午後				原		
糖尿病・内分泌内科	午前	中川	安友	西山	西山	山田	初診の方の診察は 総合内科・老年内科にて 対応いたします。 受付にてご確認ください。
		原	向田	高吉	勝二	中村	
		安友	荒井				
	午後		川瀬		高橋		予約のみ
神経内科 完全予約制	午前	濱口	濱口	濱口 (再診のみ)	小田 (再診のみ)	高田	予約のみ(初診紹介予約)
				小田			予約のみ
	午後	濱口	細見	濱口 (再診のみ)	小田 (再診のみ)	高田 (再診のみ)	予約のみ(初診紹介予約)
				小田	担当医	ボトックス外来	予約のみ
		高田 (再診のみ)				神経生理外来	
血液腫瘍内科	午前	大幡 (血液)	杉本	今村 (腫瘍)	南 (血液)		月曜日: 予約のみ
	午後	杉本 (血液)	杉本				予約のみ
リウマチ ・膠原病内科	午前		三崎	井上	関節エコー外来	三崎	水・木曜日: 予約のみ
	午後		三崎	井上	関節エコー外来		予約のみ
外科、消化器外科	午前	沢	岩谷	黒田	浦出	黒田	初診・再診
		御井	担当医	阿部(第1・3週) 小濱(第2・4週)	万井	村田	再診
			岡		岡		乳腺(予約のみ)
ストーマ外来 完全予約制	午前	森田	森田	森田 (初診)	森田	森田 (初診)	予約制(担当: 皮膚排泄ケア認定看護師)
	午後	ストーマケア相談 (第1週)					電話相談のみ(13:00～16:00)
整形外科 完全予約制	午前	橋本	川上	瀧川		今泉	予約のみ(初診紹介予約)
		川上	今泉	橋本	小田	瀧川	再診(予約のみ)
		寛島		担当医	担当医	担当医	予約のみ
	午後		今泉 (スポーツ外来)		橋本 (脊椎外来)	川上 (スポーツ外来)	予約のみ

診療科		月	火	水	木	金	備考
呼吸器外科 完全予約制	午前		高田 (再診のみ)		高田		予約のみ
	午後						
心臓血管外科	午前	麻田 (予約のみ)	麻田	麻田		顔	
	午後	麻田	麻田	麻田		顔	予約のみ
ペインクリニック内科 完全予約制	午前			佐藤			予約のみ
産婦人科	午前	西井	西井	西井	中野 (受付10時まで)	中野	木曜日は初診・新患のみ
脳神経外科	午前	岡村	三宅		三宅	鵜山	予約のみ
	午後	岡村	三宅		三宅	鵜山	予約のみ
形成外科 完全予約制	午前	藤井	藤井	藤井	藤井 (第4週)		予約のみ
	午後	北野	北野 再診(9~11時)	北野	北野		予約のみ
	午後	玉城 再診(9~11時)	玉城	玉城	玉城		第1~4水曜日はくつ外来併設 (予約のみ)
	午後	手術 学童外来(16時~)	レーザー外来	創傷外来	手術		予約のみ
	午後	レーザー外来 学童外来(16時~)	手術	創傷外来			予約のみ
	午後	学童外来 (16時~)	レーザー外来	創傷外来			予約のみ
小児科	午前	藤井	宅見	坂口	藤井	宅見	予約なし
	午後	松野下	竹中	山本	神戸大学	徳田	要予約
	午後	発達初診(竹中) (第2・4週)	循環器外来 (徳田) (第1週)	腎・泌尿器外来 (松野下)	小児外科 (加古川/宅見) (第2・4週)	アレルギーⅡ (坂口)	
	午後	内分泌 (宅見/山本)	心エコー(徳田) (第2・3・4・5週)		フォローⅠ (松野下) (第1・3・5週)		
	午後	予防接種(徳田)	神経(藤井)	内分泌(宅見)	アレルギーⅠ(竹中)	発達行動(竹中)	
	午後		発達(奥村)	心身外来(山辺)	フォローⅡ(坂口)	乳児検診(山本)	
眼科	午前	西崎	金井	松野	金井	西崎(第1・3週)	初診・再診
	午後	鉄本				鉄本 (第2・4・5週)	再診のみ
	午後	硝子体注射	黄斑外来 (第3週)	角膜外来 (第4週)		角膜外来 (第4週)	予約のみ
	午後		検査・レーザー	検査・レーザー		斜視・弱視外来 (第1・3週)	予約のみ
	午後		検査・レーザー	検査・レーザー		コンタクト外来 (第2・4週)	予約のみ
耳鼻咽喉・ 頭頸部外科	午前	池本		山本 (予約・紹介のみ)	池本		予約以外の受付は11時まで
	午後	山本 (予約・紹介のみ)		木戸上	木戸上		予約のみ
	午後	木戸上		池本	山本		予約のみ
	午後	処置外来		処置外来	処置外来		予約のみ
	午後	免疫アレルギー 外来			免疫アレルギー 外来		予約のみ
皮膚科	午前	神戸大学	熊野		神戸大学	神戸大学	
泌尿器科 11月から金曜日休診	午前	武市	田中		松本(初診のみ)		初診
	午後		松本(予約のみ)		武市(予約のみ)		再診
	午後	武市	田中		武市		予約のみ
	午後						予約のみ
放射線診断科	午前		富田		宮本		
放射線治療科	午前	上 藺				宮脇	
歯科口腔外科	午前	竹内	竹内	竹内	竹内	竹内	
	午後	石田	石田	石田	石田	石田	
	午後	小手術外来	小手術外来		小手術外来	小手術外来	各担当医(予約のみ)
	午後	再診	再診		再診	再診	各担当医(予約のみ)
精神科 もの忘れ外来 認知症看護外来 がん看護外来 感染対策相談外来 完全予約制	午前	感染対策相談 外来 高橋 (感染管理認定 看護師) (9:00~16:00)	もの忘れ外来 見市 (9:00~16:00)	認知症看護外来 高原 (認知症看護認定 看護師) (9:00~16:00)	がん看護外来 高山 (がん看護専門 看護師) (9:00~16:00)	精神科 東 (第1・2・3・4週)	予約のみ
	午後						予約のみ

新しい先生を紹介します



き ど が み と も ひ ろ

木戸上 知弘 医師の紹介（11月1日付着任）

耳鼻咽喉・頭頸部外科 専攻医 として 木戸上医師が着任しました

〈卒業年次〉 平成 24 年



た ま き ひ で ゆ き

玉城 秀行 医師の紹介（1月1日付着任）

形成外科 専攻医 として 玉城医師が着任しました

〈卒業年次〉 平成 25 年

【退任のお知らせ】

～お世話になりました～

12月31日付けで、形成外科 医長 安 田 路 規 医師が退任しました。

緩和ケア病棟 クリスマス会

12月19日

職員によるハンドベルやクラリネット演奏、呼吸器内科医師によるピアノ演奏と美しい歌声で楽しいひとときを過ごしていただきました。



クリスマスコンサート

12月22日

5階・6階・7階病棟に分かれて同時に演奏していただきました。

三木高等学校吹奏楽部の皆さんによる演奏！



【編集後記】

新年あけましておめでとうございます。

今回の広報は、病院フェスタにクリスマスコンサートなど様々な催しが盛りだくさんでした。

小野マラソンの記事もありましたが、私も小野マラソンに参加してきました。沿道で応援してくれている人達から元気をもらい、ランナーの一生懸命走っている姿に感動しました。今年から何か新しいことを始めようと思っている方、マラソンはどうでしょうか？

今年も皆様に興味をもってもらえるような広報紙を発信していきたいと思います。

今年も広報紙「ほぼえん de 北播磨」にご期待ください。

診療支援部
リハビリテーション室

技師 中西 拓也